

第2次明石市交通安全計画【素案】に対する意見と市の考え方

意見応募者数 11名(32件)

1. 計画(素案)の内容に対する意見 20件(内11件は文言修正)
2. 地域個別の要望や他自治体・企業などの事例紹介 12件

【主なご意見に対する市の考え方】

No.	該当ページ	意見の概要	市の考え方
第1章第1節			
1	P3、4	第1章で事故のデータを上げ、第2章から具体的な取り組みが書かれているが、第1章でデータを分析し、そこから見えてくる課題をつかまないと、具体的な取り組みにつながらない。	可能な範囲で事故の特徴など課題を盛り込むように努めます。
第2章第1節			
2	P5 上段	「人優先」の考え方を浸透させるためには歩行者以外にも「ドライバーや自転車利用者」に啓発していくことが重要。	対象ごとにも記載していますが、前段に「交通社会全体に」を追記し、交通に参加する全ての人を対象とした表記とします。
3	P5 中段(1)①	2 自転車の安全利用の推進 ①高齢者4段落目 「さらに、これまで交通安全教育を受ける機会の少なかった高齢者にも交通安全に関する情報や知識が行き届くよう、ケーブルテレビの活用や高齢者と日常的に接する機会を利用した助言等が効果的に行えるよう地域との連携強化に努めます。」 と記載があるが、ケーブルテレビの加入率が4割では十分周知できないのではないかと。	ケーブルテレビの活用については、高齢者への情報提供の一部を担う、周知手段の一つとして考えています。

4	P8	2 自転車の安全利用の推進 中高生の(自転車)無灯火が危険であると感じる。	様々な機会を捉えて自転車安全利用五則(同ページ欄外注釈参照)の周知に努めます。
5	P11 上段	「先進安全自動車(A S V)の普及促進を図るため、自動車アセスメントの周知に努めます。」といった旨の記述を追加できないか。	ご意見を踏まえ、修正します。
6	P13 上段②	(2)同乗者の交通安全対策 ② 6行目 「また、市と交通安全協会が連携して実施している支援制度を通じて、チャイルドシートの利用しやすい環境づくりを促進します。」 とあるが、チャイルドシートではなくベビーシートの貸し出しではないか。	交通安全協会と連携してベビーシートを貸出すことで着用の習慣化を図り、その後幼児向けのチャイルドシート利用の定着に繋げる主旨で記載しています。
7	P13 上段②	(2)同乗者の交通安全対策 ② ベビーシートを「販売店等における利用者への指導・助言を推進」とあるが、産科医等と協力し出産前からの紹介等を積極的に行うなどの他のアプローチがあってもよいのではないか。	ご意見を踏まえ、修正します。
計画自体への意見			
8		交通安全とは直接関係のない部署や事業と一緒にイベントを実施するなど相乗効果のある施策を推進してはどうか。	交通安全に関心のない層にもアプローチできる新たな取組を検討していきます。
9		市の作る計画は全体的に固いイメージがある。	本計画では構成を見直し、文言を平易にして、市民が読みやすく理解しやすい内容になるよう努めています。